

令和 4 年度
(2022 年度)

決算等審査意見書

稲城・府中墓苑組合監査委員



5 稲府墓監発第 6 号
令和 5 年 9 月 2 8 日

稲城・府中墓苑組合管理者
高 橋 勝 浩 殿

稲城・府中墓苑組合監査委員
岩 藤 真 実
稲城・府中墓苑組合監査委員
奈良崎 久 和

令和 4 年度稲城・府中墓苑組合一般会計・墓地特別会計歳入歳出決算
及び各基金の運用状況を示す書類の審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定に基づき審査に付された令和 4 年度稲城・府中墓苑組合一般会計・墓地特別会計歳入歳出決算及び同法第 241 条第 5 項の規定に基づき審査に付された令和 4 年度稲城・府中墓苑組合各基金の運用状況を示す書類について審査した結果、別紙のとおり意見を付します。

* 小数点以下の表示は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までを表示した。

* 該当の数字がないものは「—」と表示した。

令和4年度稲城・府中墓苑組合一般会計及び墓地特別会計
歳入歳出決算の審査意見書

1 審査等の種類

地方自治法第233条第2項の規定及び稲城・府中墓苑組合監査基準に基づく決算審査

2 審査の対象

令和4年度稲城・府中墓苑組合一般会計歳入歳出決算書、墓地特別会計歳入歳出決算書及び関係書類

3 審査の手續及び着眼点並びに実施内容

審査に当たっては、提出された決算書が法令に従い調製及び作成されているか、計算に間違いはないか、支出命令等に符号しているか、収支は適法であるか等に主眼を置き、書類審査及び職員の説明の聴取により実施した。

4 審査の実施場所及び日程

実施場所：公営 稲城・府中メモリアルパーク 南山ホール2階洋室

日 程：令和5年7月27日

5 審査の結果

審査に付された決算及び証書類は、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されており、かつ証拠書類と照合したところ、計数に誤りはないものと認められた。

1 決算の規模と収支状況

令和3年度稲城・府中墓苑組合一般会計及び墓地特別会計の歳入歳出決算は次のとおりである。

(1)一般会計歳入歳出決算

(単位：円)

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額 (形式収支)	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額
87,863,262	75,413,851	12,449,411	0	12,449,411

この決算額の対前年度との比較は次のとおりである。

(単位：円、%)

区分	年度	令和4年度	令和3年度	対前年度	
				増減額	増減率
歳入総額	A	87,863,262	78,912,425	8,950,837	11.3
歳出総額	B	75,413,851	67,191,151	8,222,700	12.2
歳入歳出差引額 (A-B)	C	12,449,411	11,721,274	728,137	6.2
翌年度へ繰り 越すべき財源	D	0	0	0	0
実質収支額 (C-D)	E	12,449,411	11,721,274	728,137	6.2
前年度実質収支額	F	11,721,274	6,095,347	5,625,927	92.3
単年度収支額 (E-F)	G	728,137	5,625,927	△ 4,897,790	△ 87.1

本年度の一般会計の歳入総額は8,786万3,262円で、前年度と比較すると895万837円(11.3%)の増となっている。歳出総額は7,541万3,851円で、前年度と比較すると822万2,700円(12.2%)の増となっている。

本年度の歳入総額から歳出総額を差し引いた歳入歳出差引額は1,244万9,411円で、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支額は1,244万9,411円となっている。

(2)墓地特別会計歳入歳出決算

(単位：円)

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額 (形式収支)	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額
928,158,226	919,325,354	8,832,872	0	8,832,872

この決算額の対前年度との比較は次のとおりである。

(単位：円、%)

区分	年度	令和4年度	令和3年度	対前年度	
				増減額	増減率
歳入総額	A	928,158,226	985,899,068	△ 57,740,842	△ 5.9
歳出総額	B	919,325,354	976,391,394	△ 57,066,040	△ 5.8
歳入歳出差引額	(A-B) C	8,832,872	9,507,674	△ 674,802	△ 7.1
翌年度へ繰り 越すべき財源	D	0	0	0	0
実質収支額	(C-D) E	8,832,872	9,507,674	△ 674,802	△ 7.1
前年度実質収支額	F	9,507,674	12,402,696	△ 2,895,022	△ 23.3
単年度収支額	(E-F) G	△674,802	△2,895,022	2,220,220	76.7

本年度の墓地特別会計の歳入総額は9億2815万8,226円で、前年度と比較すると5,774万842円(5.9%)の減となっている。歳出総額は9億1,932万5,354円で、前年度と比較すると5,706万6,040円(5.8%)の減となっている。

本年度の歳入総額から歳出総額を差し引いた歳入歳出差引額は883万2,872円で、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支額は883万2,872円となっている。

2 歳入の状況

(1) 一般会計歳入決算

本年度の予算現額は8,333万3,000円で、調定額は8,786万3,262円、収入済額は8,786万3,262円、予算現額に対する収入率は105.4%である。

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	不納 欠損額	収入 未済額
令和4年度	83,333,000	87,863,262	87,863,262	105.4	0	0
令和3年度	79,018,000	78,912,425	78,912,425	99.9	0	0
増減額	4,315,000	8,950,837	8,950,837	—	0	0
増減率	5.5	11.3	11.3	5.6	0.0	0.0

(2) 墓地特別会計歳入決算

本年度の予算現額は9億4,160万7,000円で、調定額は9億2,815万8,226円、収入済額は9億2,815万8,226円、予算現額に対する収入率は98.6%である。

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	不納 欠損額	収入 未済額
令和4年度	941,607,000	928,158,226	928,158,226	98.6	0	0
令和3年度	999,359,000	985,899,068	985,899,068	98.7	0	0
増減額	△ 57,752,000	△ 57,740,842	△ 57,740,842	—	0	0
増減率	△ 5.8	△ 5.9	△ 5.9	△ 0.1	0.0	0.0

3 歳出の状況

(1) 一般会計歳出決算

本年度の予算現額は8,333万3,000円で、支出済額は7,541万3,851円、翌年度繰越額はなく、不用額は791万9,149円、執行率は90.5%である。

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	支出済額	執行率	翌年度 繰越額	不用額
令和4年度	83,333,000	75,413,851	90.5	0	7,919,149
令和3年度	79,018,000	67,191,151	85.0	0	11,826,849
増減額	4,315,000	8,222,700	—	0	△ 3,907,700
増減率	5.5	12.2	5.5	0.0	△ 33.0

(2) 墓地特別会計歳出決算

本年度の予算現額は9億4,160万7,000円で、支出済額は9億1,932万5,354円、翌年度繰越額はなく、不用額は2,228万1,646円、執行率は97.6%である。

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	支出済額	執行率	翌年度 繰越額	不用額
令和4年度	941,607,000	919,325,354	97.6	0	22,281,646
令和3年度	999,359,000	976,391,394	97.7	0	22,967,606
増減額	△ 57,752,000	△ 57,066,040	—	0	△ 685,960
増減率	△ 5.8	△ 5.8	△ 0.1	0.0	△ 3.0

(3) 歳出の性質別比較（普通会計）

歳出の性質別比較は、普通会計によるものとし、次表のとおりである。なお、普通会計とは地方公共団体の会計のうち公営事業会計を除く会計を統合したものであり、地方財政統計上統一的に用いられる会計区分である。

(単位：千円、%)

区分	令和4年度		令和3年度		対前年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
人件費	60,767	6.3	58,081	5.7	2,686	4.6
物件費	46,394	4.8	44,680	4.4	1,714	3.8
維持補修費	630	0.1	1,243	0.1	△ 613	△ 49.3
扶助費	100	0.0	0	0.0	100	皆増
補助費等	10,840	1.1	5,057	0.5	5,783	114.4
公債費	527,022	54.4	527,023	51.8	△ 1	△ 0.0
積立金	322,779	33.3	380,876	37.5	△ 58,097	△ 15.3
合計	968,532	100.0	1,016,960	100.0	△ 48,428	△ 4.8

(4) 歳出の目的別比較（普通会計）

歳出の目的別比較は、普通会計によるものとし、次表のとおりである。なお、区分については、地方財政統計上用いられているもので、決算書における予算科目とは計上が異なる。

(単位：千円、%)

区分	令和4年度		令和3年度		対前年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
議会費	2,058	0.2	1,461	0.1	597	40.9
総務費	523	0.1	450	0.1	73	16.2
民生費	100	0.0	0	0.0	100	皆増
衛生費	438,829	45.3	488,026	48.0	△ 49,197	△ 10.1
公債費	527,022	54.4	527,023	51.8	△ 1	△ 0.0
合計	968,532	100.0	1,016,960	100.0	△ 48,428	△ 4.8

4 物品

物品の現在高（取得価額 50 万円以上）

区分	前年度末 現在高	令和4年度中 増減高	令和4年度末 現在高
乗用自動車	2	0	2
音響機器	2	0	2
遺体保冷库	3	0	3
祭壇	2	0	2

5 基金

基金の現在高

(単位：円)

区 分	前年度末 現在高	令和4年度中増減高		令和4度末 現在高
		増	減	
財政調整基金	40,552,180	13,569	0	40,565,749
墓地管理運営基金	344,299,693	322,764,576	568,559,000	98,505,269
合 計	384,851,873	322,778,145	568,559,000	139,071,018

6 まとめ

令和4年度稲城・府中墓苑組合の一般会計及び墓地特別会計における歳入歳出決算の執行状況、及び事務事業の実施状況を審査したところ、事務は適正に処理されていると認められた。

令和4年度決算では、一般会計においては、歳入の予算比収入率が105.4%、歳出の執行率が90.5%であり、墓地特別会計においては、歳入の予算比収入率が98.6%、歳出の執行率が97.6%であった。

歳入面では、前年度比で南山ホール使用料収入が約38%の増の一方で、墓地使用料収入が約15%の減となった。

南山ホール使用料収入増の要因は、いわゆる「アフターコロナ」における需要の回復によるものであるが、依然としてコロナ禍以前の水準までは達していない。これは、コロナ禍における新たな生活様式の定着により、葬儀・法要の簡素化が進んだものと考えられ、今後もホールの需要がコロナ禍前の水準に回復することは難しいと思われる。法要室については、墓地使用者の増によりある程度安定した稼働が見込めるが、式場や霊安室については、ニーズの変化を捉え、稼働率の向上による収益確保に努められたい。

墓地使用料収入減の要因は、普通墓地が令和3年度で完売したことによる要因が大きく、普通墓地を除いた墓地使用料収入を比較すると、令和3年度と同程度の収入となっている。墓地に対するニーズの変化や応募状況に対応する形で、新たに有期限芝生墓地の募集を開始したことや、墓地使用者の募集を年3回に増加したこと、居住要件を緩和したことにより、一定の需要を取り込むことができた点については評価できる。

歳出面では、燃料費高騰による光熱水費の不足等の影響があったものの、予算どおりに執行されている。

最後に全体として、償還金の返済が残り2年となり、返済に関しては概ね見通しが立っているとのことで、よかったと思う。今後は、将来の大規模修繕に備える運用を行うことや、市の負担金が少なくなるような運営をしていくことを望む。